

ツムグにひとミライ



Daiwa Spinning

大和紡績株式会社

環境報告書 2022

報告対象期間 2021.4.1 ~ 2022.3.31





◆ トップメッセージ

地球温暖化による世界的な気温上昇は、各地で異常気象を引き起こし、甚大な被害をもたらしています。脱炭素の機運がますます高まる中、資源循環や環境負荷に配慮したマテリアルへのシフトは世界の潮流となっており、温室効果ガス排出削減にも貢献できるため、脱炭素化には必要不可欠な取り組みと考えています。

大和紡績グループは、2050年に向けたカーボンニュートラル実現するため、あらゆる選択肢を追求し事業の構造改革を進めています。

当社は、2021年10月より繊維事業の研究開発を播磨研究所に集約し、グループの固有技術を横断的に活用するための研究開発体制を整えました。環境配慮型商品については多様な顧客ニーズに応えるため、機能性レーヨンを活用した商品開発やリサイクル原料の有効利用、植物由来のバイオマス・生分解繊維など、新たな技術のシナジー効果を発揮して環境に配慮したサステナブルな商品の開発に取り組んでいます。

こうした持続可能な商品を提供する役割に加え、「人と地球にやさしい」をスローガンとする経営理念に基づき、働く人の基盤整備や、事業所の安全衛生と環境保全、社会規範の順守、地域社会への貢献など17項目の重点課題を掲げてESG活動を推進しています。

環境問題に対しては、生産性の改善を進めると共に省エネルギー技術の導入、脱炭素エネルギーへの転換、廃棄物の3R推進に取り組み、ESGやSDGsの観点から環境保護に貢献してまいります。

私たち大和紡績グループは、社会から信頼される企業として、人と地球に優しい持続可能な企業価値創造を目指し変革を続け、より豊かで調和のとれた社会の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 有地 邦彦



◆ 目次

● トップメッセージ	2
● 目次	3
● 理念体系	4
● 企業行動憲章	5
● コーポレートガバナンス	6
● 環境方針	7
● SDGsへの取り組み	8
● 会社概要	9
● 国内拠点	10,11
● 環境配慮商品	12,13
● 事業活動における物質フロー	14
● 環境保全活動	15,16,17
● 安全衛生活動	18
● 従業員の教育	19
● 社会貢献活動	20



◆ 理念体系

社訓

和ヲ以テ貴シト為ス

行動規範

- 真実と公正を認識の基準とする
- 自己改革と自己責任を思考の原点とする
- 迅速と完結を行動の基本とする

企業行動憲章

大和紡績グループは、国内外において関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、憲章に掲げた10原則に基づき、持続可能な社会の発展に向け、高い倫理観をもって社会的責任を果たします。

経営理念

- 私たちは、未来を見据えた創造力と構想力をもって、次代が求める信頼されるモノづくりに挑戦し続けます。
- 私たちは、繊維の可能性を追求した独自の開発技術を基軸に、新たな価値を創造し、企業としての成長を目指します。
- 私たちは、環境・社会・企業統治の視点を重視する事業運営に努め、人と地球にやさしい持続可能な社会の発展に貢献します。

タグライン

ツムグにひとミライ



❖ 企業行動憲章

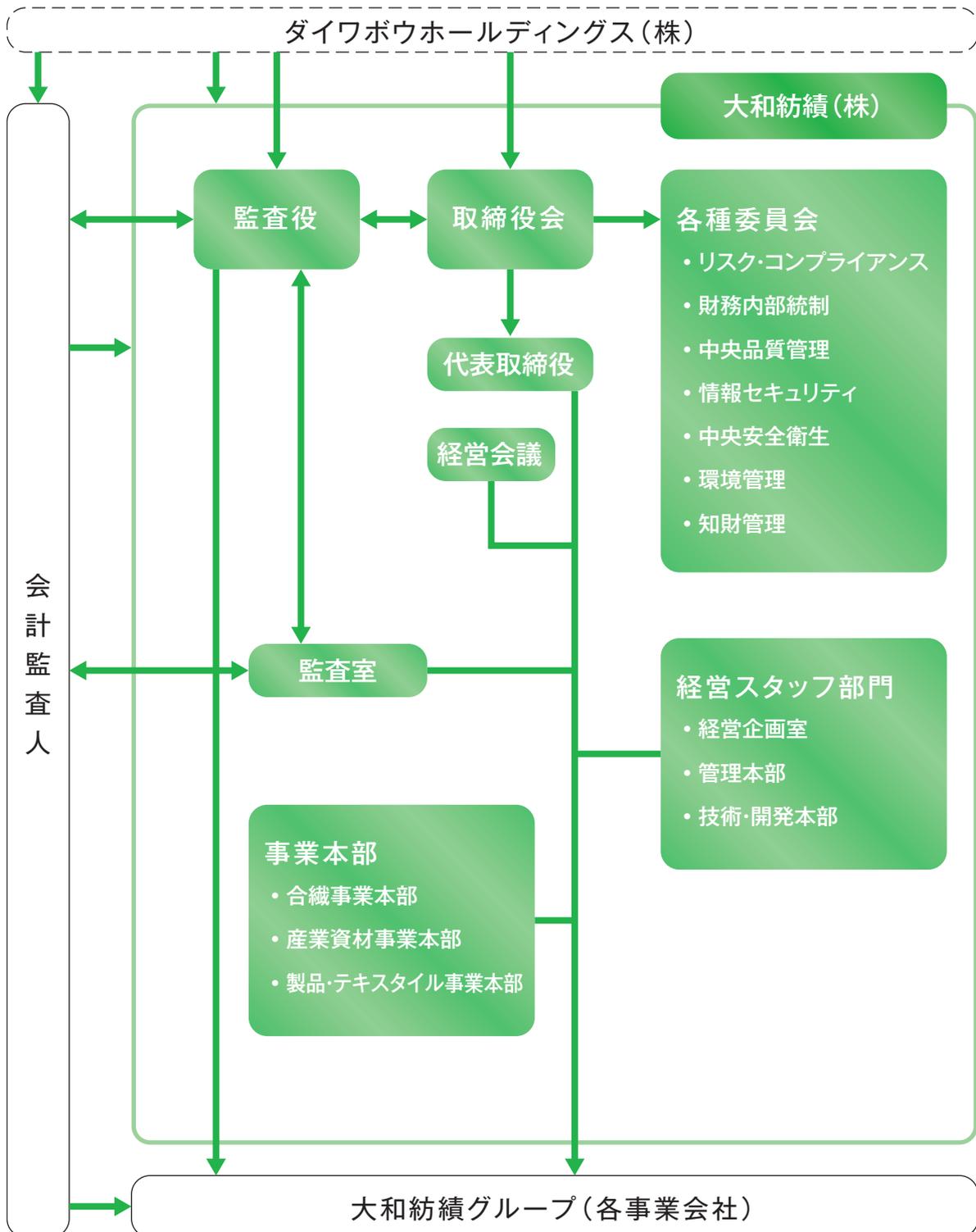
企業行動憲章10原則	ESG軸	SDGs軸
1. 持続可能な経済成長と社会的課題の解決 改革と挑戦により社会に有用で良質で安全な商品・サービスを開発・提供し、持続可能な経済成長と社会的課題の解決に貢献します。	S	4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう
2. 公正な事業慣行 法令・倫理・慣行などの社会規範を遵守し、公正で透明性のある自由な競争ならびに適正な取引を確保・実行します。	G	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
3. 公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話 企業情報を適時適切に開示し、社会とのコミュニケーションを通して良好な関係を構築します。	G	16 平和と公正をすべての人に
4. 人権の尊重 全ての人々の多様性・人格・個性などの人権を尊重します。	S	5 ジェンダー平等を達成しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
5. 消費者・顧客との信頼関係 消費者・顧客に対して、商品・サービスに関する適切な情報を提供し、誠実な対応を心掛け、満足と信頼を獲得します。	S	12 つくる責任 つかう責任
6. 働き方の改革、職場環境の充実 従業員のキャリア形成や能力開発に努めるとともに、安全で働きやすい職場環境を整備します。	S	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を達成しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう
7. 環境問題への取り組み 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、地球環境に十分配慮した商品の開発や事業活動に主体的に取り組みます。	E	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
8. 社会参画と発展への貢献 「良き企業市民」として社会貢献活動に努め、従業員の自発的な社会参画を支援します。	S	1 貧困をなくそう 2 質の高い仕事と賃金を 3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
9. 危機管理の徹底 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力の行動やテロ・サイバー攻撃・自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底します。	G	11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に
10. 経営トップの役割と本憲章の徹底 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、実行あるガバナンスを構築して社内・グループ企業に周知徹底を図ります。本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決・原因究明にあたり、迅速かつ的確な情報の公表と再発防止策の徹底に努めます。	G	11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に



❖ コーポレートガバナンス

当社は、コーポレートガバナンスを経営上の最重要課題の一つであると認識し、グループ各社の経営管理を強化するとともに、監査体制の充実によりグループ全体の経営効率の向上とガバナンスの徹底を図ることを、経営の基本方針としています。

コーポレートガバナンス体制図





❖ 環境方針

我々は、「人にやさしく、地球にやさしい」企業活動により、健康で文化的な生活に不可欠な、地球環境の保全に努めます。

- 1.健全な環境を維持するため、環境負荷の低減、および環境汚染予防を目的とした環境保全活動を継続的に取り組みます。
- 2.環境に関連する法規制及び協定を遵守し、環境保全活動に取り組みます。
- 3.環境保全活動において次の項目についての改善を特に推進します。
 - (1) エネルギーの節減
 - (2) 資源の有効活用
 - (3) 有害な物質の環境への排出を削減する。
 - ※(4) 我々の定める有害な化学物質が製品に入らないようにする。
 - (5) 環境に優しい開発品の提案に努める。
- 4.効果的な環境保全活動の推進に向けて、環境目標を定め、環境保全活動の実現を図るために管理します。
- 5.本環境方針を実効・維持するために、全従業員に対して周知を図り、また、一般にも公開しその達成に努めます。

※(4):化審法や毒劇法など、各種法令に準拠した化学物質の管理を前提としています。





SDGsへの取り組み

持続可能な社会の実現のために、環境問題はESG経営を推進するうえで重要な経営課題であると認識しています。当社グループでは環境に配慮した商品開発・販売などの事業活動において、国連が推奨するSDGsの活動を通じて環境課題や社会課題に取り組み、人と社会に貢献してまいります。

社会課題	重要課題	活動項目	SDGsとの関連	
E (環境)	1 地球環境保護の推進	①環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の削減 リサイクルの促進 資源の有効活用 PRTR特定化学物質の削減 輸送効率の向上 	
		②環境配慮商品の開発	・エコロジー素材の開発	
		③3Rの推進	・産業廃棄物の削減	
		④環境マネジメント	・ISO14001の運用と監査の実施	
S (社会)	2 持続可能な社会への貢献	⑤持続可能商品の提供	・社会課題解決型の販売促進	
		⑥品質と安全	・ISO9001の運用と監査の実施	
		⑦サプライチェーン管理	<ul style="list-style-type: none"> 取引先のESG要請状況の確認 バイオマス、生分解等の持続可能性を有する原料の調達 	
	3 労働環境の醸成と人材育成	⑧労働安全衛生	・安全衛生活動、防災訓練	
		⑨有給休暇取得の推進	・労務管理の向上	
		⑩従業員の健康維持	・ストレスチェック、産業医指導	
		⑪ITによる業務効率化	・RPA (Robotic Process Automation) の活用	
		⑫教育研修制度の充実	・従業員教育、資格取得	
	4 社会貢献活動	⑬地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティへの参画 地域清掃活動、緑化推進 	
	G (統治)	5 コーポレートガバナンス	⑭ガバナンスの推進	
⑮災害対策の強化			<ul style="list-style-type: none"> 従業員教育 BCPの策定 	
⑯情報セキュリティ対策			<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ委員会 従業員教育 	
⑰ステークホルダーとの対話			・利害関係者からのニーズ、苦情等への対応	



◆ 会社概要

代表者……………有地 邦彦

創 立……………2009年7月1日

資 本 金……………35億4,500万円

従業員数……………1,485名(国内関連2022年3月現在)

主な事業内容……………【合織事業本部】

化合繊綿、糸、不織布製品の製造販売

【産業資材事業本部】

製紙用カンバス、濾過布、フィルター、土木資材、ゴム材料、自転車タイヤの製造販売

【製品・テキスタイル事業本部】

糸、生地等の各種繊維原料及び衣料製品、寝具、寝装品、日用雑貨等の繊維製品の製造販売

【カンボウプラス(株)】

カンバス製品の製造販売、建築物・工作物の設計・施工

【ダイワボウレーヨン(株)】

レーヨン綿、不織布及びその二次製品、機能性材料及びそれらを含む製品の製造販売

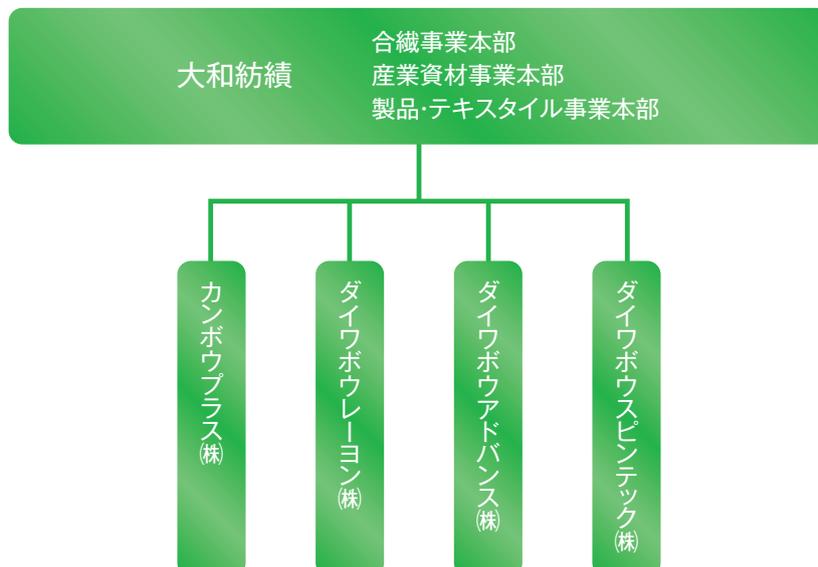
【ダイワボウアドバンス(株)】

紳士・婦人・子供向け衣料品のカジュアルウェア全般及びインナーウェアの製造販売

【ダイワボウスピンテック(株)】

繊維素材の生産販売と新素材の研究開発

組 織 図





◆ 国内拠点

国内事業拠点一覧

本 社	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-6-8 JRE御堂筋ダイワビル TEL 06-6281-2512 FAX 06-6281-2522	東京本社	〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12-20 日本橋T&Dビル TEL 03-4332-8221 FAX 03-4332-8235
合織 播磨工場	〒675-0163 兵庫県加古郡播磨町古宮877 TEL 078-942-1521 FAX 078-942-6251	産業資材 出雲工場	〒693-0001 島根県出雲市今市町1900 TEL 0853-21-0340 FAX 0853-21-0347
合織 美川工場	〒929-0201 石川県白山市鹿島町1-9-9 TEL 076-278-7820 FAX 076-278-7811	産業資材 益田工場	〒699-3676 島根県益田市遠田町2142 TEL 0856-22-4531 FAX 0856-23-6914
合織 益田工場	〒698-0036 島根県益田市須子町3-1 TEL 0856-22-8332 FAX 0856-22-6783	産業資材 明石工場	〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水73-1 TEL 078-946-7502 FAX 078-946-7503
播磨 研究所	〒675-0163 兵庫県加古郡播磨町古宮877 TEL 078-942-8457 FAX 078-942-7935	ダイワボウ スピントック	〒699-0406 島根県松江市宍道町佐々布75-2 TEL 0852-66-0221 FAX 0852-66-0224
カンボウ プラス	〒916-0015 福井県鯖江市御幸町1-1-48 TEL 0778-51-6112 FAX 0778-51-6307	ダイワボウ レーヨン	〒698-0036 島根県益田市須子町3-1 TEL 0856-31-0550 FAX 0856-22-8930
ダイワボウ アドバンス	〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町4丁目3番5号 本町サミットビル6階 TEL 06-6253-6900		



国内拠点

益田工場（産業資材）
自転車用タイヤの製造



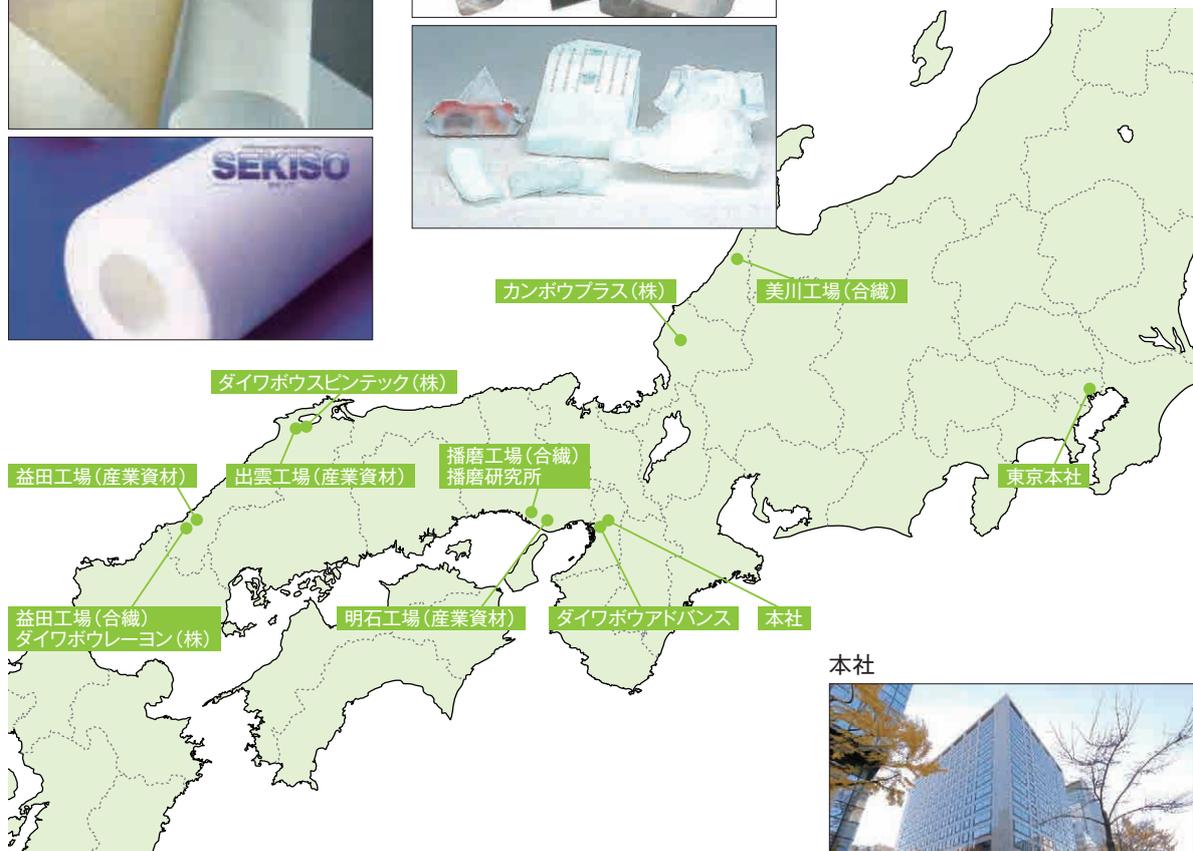
美川・益田工場（合織）
生活資材用不織布の製造



東京本社



出雲工場（産業資材）
製紙用カンバス、濾過布、
フィルター、土木資材の製造



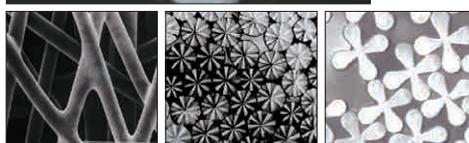
明石工場（産業資材）
工業用ゴムの製造



播磨工場（合織）
化合繊綿の製造



本社





❖ 環境配慮商品

環境に優しいエコロジー素材

生分解性、天然素材

生分解性繊維 (miracle® fiberKK-PL)

微生物等による分解性があるエコロジー樹脂(バイオマス)のみで作られた熱接着性複合繊維です。土中に埋めておくだけで、自然に分解する繊維です。



2層構造糸 (TWINLET®)

ペットボトルを再生したリサイクルポリエステルをCOTTON USAマーク対応のアメリカ綿で包んだ2層構造糸。糸の表面はコットンなので優しい肌触り。吸水性や速乾性が高く、寸法安定性のあるサステナブルな素材です。



レーヨン不織布 (Apitas® E)

レーヨン素材を使用したスパンレース不織布です。海水中をはじめ、土中でも優れた生分解性を発揮します。柔らかな肌触りが特徴の環境に優しい素材です。



レーヨン系不織布 (Apitas® B)

バイオマスマーク・FSCなどの認証を取得可能なスパンレース不織布です。バイオマスマークは生物由来の資源を活用し、品質及び安全性が関連する法規、基準、規格に適合している環境商品の目印です。



環境汚染防止

カートリッジフィルター (SEKISO®)

独自の製造技術で開発された多層構造フィルターです。電子・塗料・メッキ・食品・化学工業をはじめ、様々な分野で活用されています。



フィルタークロス

永年培った織物技術を活かしたフィルター素材です。水質汚染を防止するろ布や、大気汚染を防止するバグフィルターろ布として、幅広い分野で環境保全に貢献しています。





環境配慮商品

環境に優しいエコロジー素材

環境負荷低減

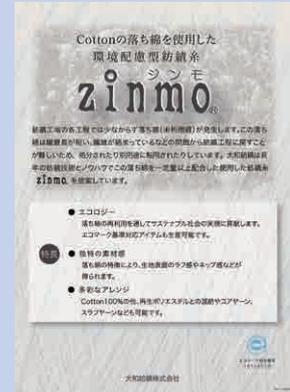
ポリオレフィン複合繊維 (miracle® fiberV)

ポリウレタン代替のクッション素材。軽量性やクッション性、通気性などに優れた、環境に優しい熱接着型の繊維です。



環境配慮型紡績糸 (Zinmo®)

紡績工程で発生した落ち綿を再利用したエコ素材綿糸。私たちは長年の紡績技術とノウハウでこの落ち綿の再利用化によりサステナブル社会の実現に貢献します。



RUBBER SPONGE

これまで蓄積したゴム発泡技術を更に進化させ、低比重且つソフト感を備えた環境対応型のゴムスポンジです。硫黄フリーの車両向けをはじめ、様々な用途で使用されています。



AIR SKY® AIR FEATHER® AIR BASE®

大和紡績の「軽量帆布シリーズ」は、織物本来の耐久性に加え、広幅・超軽量・防災・カラーバリエーションなど幅広く機能を高めました。



環境保全

コンクリート自己治癒繊維 (Mercury®C)

コンクリート及びモルタルに混ぜることでひび割れを自己治癒することの出来る繊維です。コンクリート長寿命化の新素材として期待されています。



ニューポリプロシート

基布もコーティング樹脂もポリプロピレンを使ったオレフィン100%で環境に優しい軽量のシートです。トラックシートから倉庫用帆布まで、あらゆる産業資材分野で使用されています。



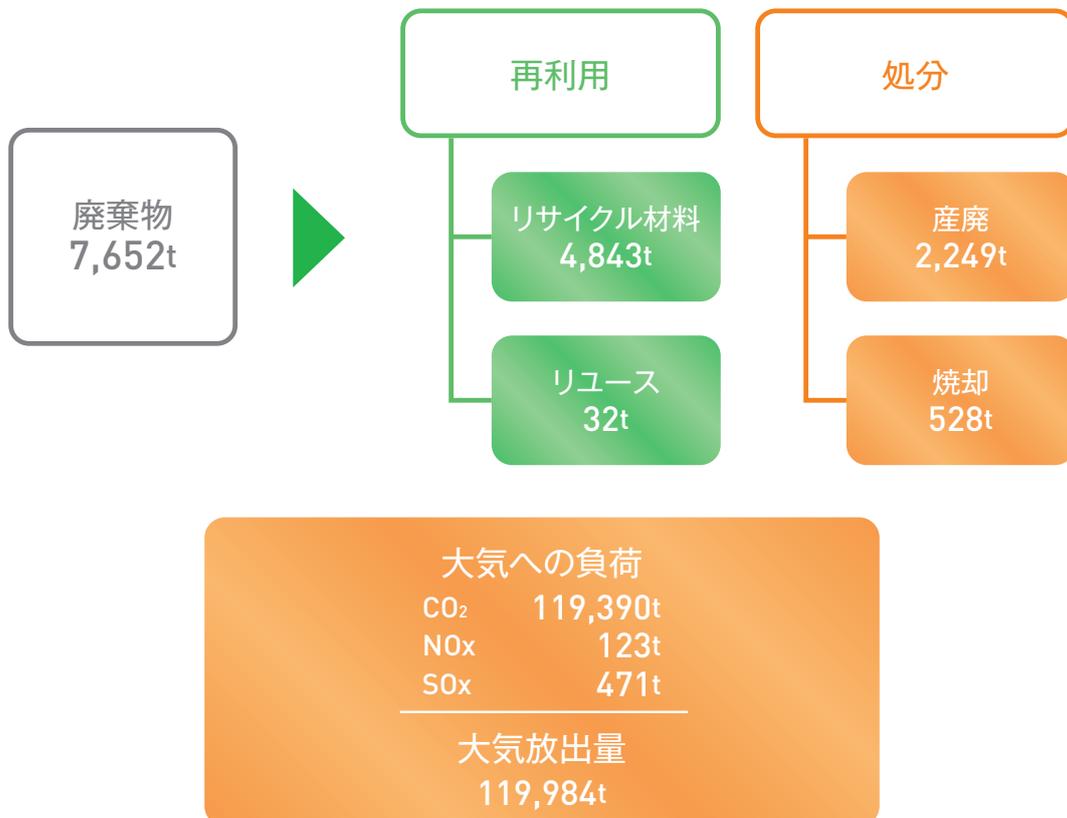
事業活動における物質フロー

2021年度の事業活動における物質フローは下記の通りです。大和紡績グループ国内拠点に関するデータを集計しました。

1. 生産活動



2. 環境負荷





◆ 環境保全活動



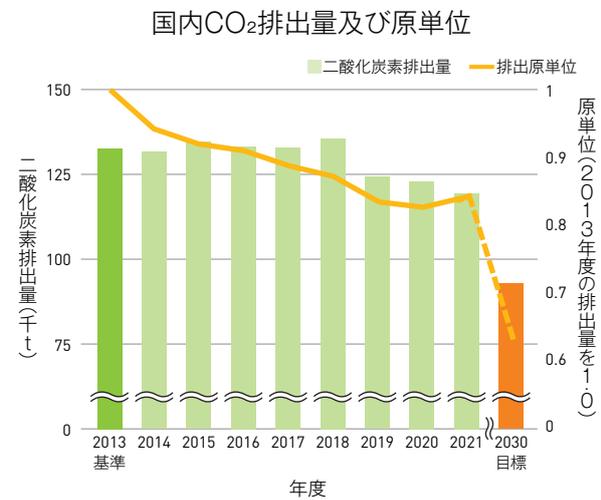
1. 地球温暖化防止

地球温暖化の影響により、世界的に異常気象が増加していく可能性が指摘されています。気象災害の激甚化・頻発化は、各地で甚大な被害をもたらしており、将来世代にわたる影響が強く懸念されています。大和紡績グループは、脱炭素社会の実現に向け2050年までにカーボンニュートラルを目指すと共に、通過点の2030年では「2013年度比国内CO₂排出量30%削減 (Scope1,2)」を目標に掲げています。また今後は、Scope3 (サプライチェーン排出量) や海外事業所についても集約し、CO₂排出量削減を検討致します。エネルギー転換や省エネ設備への投資、資源循環の促進、モーダルシフトなどの活動を通して、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

地球温暖化対策の推進に関する法律 (温対法) により、特定事業所は温室効果ガス排出量の算出・報告・削減が義務付けられています。

当社ではボイラー燃料を重油からガスなどへの転換を進め、温暖化ガスの排出抑制に取り組んできました。2021年度の二酸化炭素排出量は、基準年の2013年度比10%減少、原単位として15%減少しました。ただし原単位は、前年比2%悪化しました。

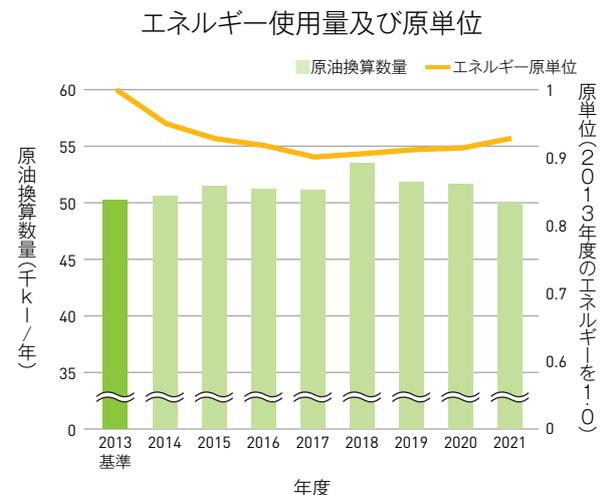
国内CO₂排出量の削減目標:2013年度比30%削減 (Scope1,2)



2. 省エネルギー

ダイワパワーヨン益田工場、カンボウプラス福井工場、播磨工場、美川工場は第一種エネルギー管理指定工場、合織益田工場は第二種エネルギー管理指定工場に該当します。

エネルギー使用量は減産により減少しましたが、原単位は前年比2%悪化しました。基準年の2013年度比では7%減少しました。各事業所では蒸気配管や電熱ヒーターの保温強化、蒸気・電力の管理強化などにより省エネルギー化を進めています。





◆ 環境保全活動

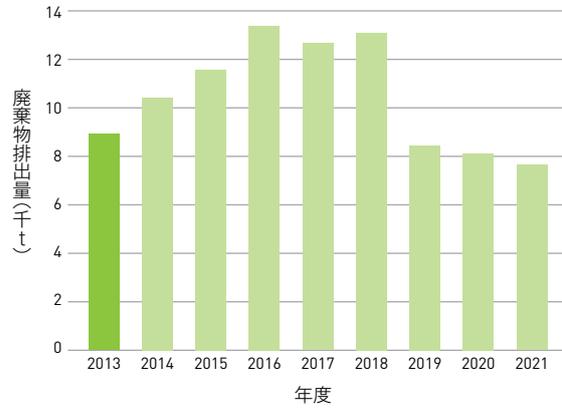


3. 廃棄物の削減

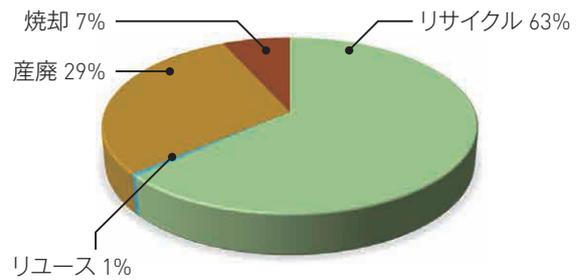
2021年度の産業廃棄物は、基準年の2013年度比14%減少しました。当社では、生産効率の向上に加え、マテリアルの内部リサイクルを進める一方、副産物のリユースに取り組んでいます。

2021年度の産業廃棄物の再利用率はリサイクル、リユースを合わせて64%（前年比+6%）でした。また、事業所内で焼却処理される廃棄物は前年の10%から7%へ減少しました。焼却処理についてはサーマルリサイクルシステムの確立を目指すなど、2030年度までに自家焼却処理を廃止する予定です。

廃棄物排出量の推移



2021年度 廃棄物排出内訳



4. 化学物質の管理

PRTR制度の対象化学物質は、主に可塑剤や溶剤として使用し厳重に管理しています。また非対象物質への切り替えを進めるなど、移動・排出量の削減に取り組んでいます。

PRTR 制度対象物質の排出量・移動量





◆ 環境保全活動



5. 主な取り組み

ガスボイラー導入 (CO₂、NO_x、SO_x削減)



太陽光発電の導入 (再生エネルギー)



新型蒸発装置の導入 (省エネルギー)



バルクコンテナの活用 (輸送効率向上)



製品輸送のモーダルシフト (CO₂削減)



防災・減災商品の提案 (環境保全)

パネテクター。(パネル型止水シート)



資源の循環利用 (リサイクルの促進)

リコビス。(衣料からのリサイクル繊維)

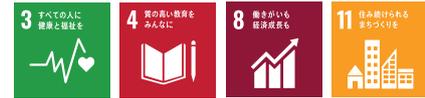


防災・減災商品の提案 (環境保全)

エアマイスター (臨時医療施設などで利用される陰圧式テント)



◆ 安全衛生活動



全員参加型の安全活動を基本に、定期的にヒヤリハット・リスクアセスメント活動を実施し、安全意識の高揚を行っています。また、各種講習会、トレーナー養成講座など安全衛生教育を実施しています。また新入社員に対しては、回転体を疑似的に体験できる体感装置による危険予知訓練を実施しています。

防災訓練



安全衛生委員会



体感装置による訓練



職場改善活動発表会



交通安全講習会





❖ 従業員の教育



当社の従業員教育は、安全な作業、お客様が満足する品質管理を実現するために、各種講習会、OJT、通信教育等の受講、公的資格取得等を推進し、従業員一人一人がレベルアップを図ることの出来る職場環境を提供しています。

「資格の一例」

- 特別管理産業廃棄物管理責任者
- 公害防止管理者(大気、水質)
- エネルギー管理士
- 危険物取扱者
- 消防設備士
- 電気工事士
- 第三種電気主任技術者
- ボイラー技士
- 第一種衛生管理者
- 特定化学物質作業主任者
- 有機溶剤作業主任者
- 一般計量士
- クレーン運転
- フォークリフト運転
- 高所作業車運転
- はい積み作業主任者
- ISO9001内部監査員
- ISO14001内部監査員

「各種講習会の一例」

- 廃棄物焼却施設に関する業務の特別教育
- 有機溶剤業務従事者労働衛生教育
- 化学物質管理者講習
- 粉塵作業特別教育
- 防火管理者講習
- ダイオキシン類取り扱い業務特別教育
- 高圧・特別高圧電気取り扱い業務特別講習
- アーク溶接講習
- 乾燥設備作業主任者技能講習
- ボイラー取り扱い技能講習
- クレーン運転特別教育
- 玉掛け技能講習
- フォークリフト運転技能講習
- はい作業主任者技能講習
- ハラスメント講習
- 働き方改革関連法等講習
- リスク・コンプライアンス研修
- 労務管理研修

❖ 社会貢献活動



当社グループでは、地域社会との連携や、様々な社会貢献活動を通じて持続的発展に貢献できるよう取り組んでいます。

1. 交通安全活動への参加

地域の交通安全を促進するため、安全運転旗振り活動に参加しています。



2. 社会福祉法人への支援

不織布の端材を、清掃用シートとして社会福祉法人へ無償提供しています。



3. 地域周囲の清掃および緑化の推進

①工場周辺の清掃、場内の緑化推進。



②大阪びわ湖マラソン クリーンUP作戦。



ツムグにひとミライ



Daiwa Spinning

大和紡績株式会社

Daiwabo Co., Ltd.

内容に関するお問い合わせ先
品質・環境安全部

TEL 06-6281-2419 FAX 06-6281-2585